

### Ⅲ 〈活動報告〉

## 平成19年度 情報処理センター学生スタッフの活動について

学生スタッフは、自習利用者の支援や自習室の整備等、センター利用者へのサービスの向上のため電算実習室に配属されています。また、ユーザズガイドの編集や公開講座のサポートなど学生の視点から情報化の推進に協力しています。

平成19年度は前期28人、後期26人の登録があり、情報処理技術やコミュニケーション能力を高めるために3グループ（「ユーザズガイド&公開講座班」「広報班」「資料作成&教材作成支援班」）に分かれて作業を行い、スタッフ各自の課題にも取り組みました。各班の業務は次の通りです。

### ○ユーザズガイド&公開講座班

ユーザズガイド&公開講座班の主な業務は、「ユーザズガイド作成（Web版・冊子版）」「スタートアップガイド作成」そして「パソコン入門講座とExcel入門講座の各テキスト作成および講座の補助業務」です。

今年度のスタッフは未経験者が多いということと、今年度のパソコン入門講座では「ブログ」という初めての題材だったこともあり、前期は未経験者の指導とパソコン入門講座のテキスト作成に費やしてしまい、最終的に七月末～八月初頭にかけて駆け込み的に作成する部分が多くなってしまったことや、班員の作業量の偏りが大きくなってしまったことが残念です。また、パソコン入門講座の補助業務を行いました。後期の前半は、Excel入門講座のテキストの作成をして、Excel入門講座の補助業務を行いました。後半は、2008年度入学生用のスタートアップガイド作成を行いました。

パソコン入門講座ではブログをはじめて行ったのですが、公開講座の進行とテキストの内容に大きな問題はありませんでした。ただ、三日目のデジカメを使用し、パソコンへ取り込む方法を統一したほうが良いのではという指摘や、パソコンとデジカメ・カードリーダーとの接続を切る際の、「ハードウェアの安全な取り外し」から行う旨をテキストに載せる旨の指摘を受けました。

また、これは仕方の無いことですが、受講される方のパソコン歴に差があるため、どうしてもレベルの差というものが出来てしまいます。受講される方のレベルに合わせてクラス分けをしたほうが良いという指摘もあります。慣れない方にもわかりやすいテキストを目指すと共に、このことについて考慮したほうが良いかもしれません。

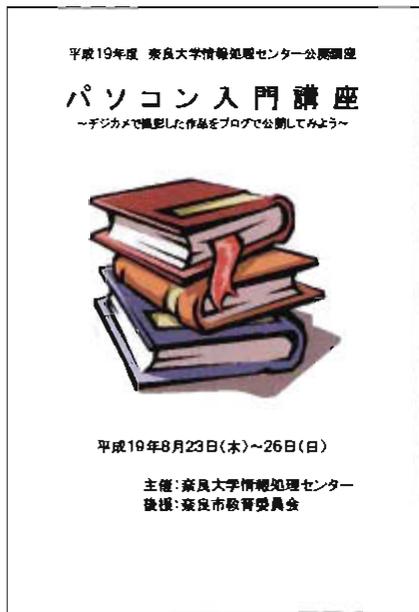
Excel入門講座の内容は前年度と変更がないので、テキストの表紙の図案を班員に一つずつ作成してもらい、決まりきった図表ではなく個性味溢れる図案に変更しました。次に住所録のデータを以前までの駅名のデータから一新して、奈良大学・奈良大学生に関係のある施設の住所録へと変更しました。これは受講者に奈良大学とはどういう大学なのかを

知って貰おうという意図のもと、変更したものです。他には記載データの数値の変更や誤字脱字の修正をかけました。5日間の講座も無事成功を収めることが出来ました。

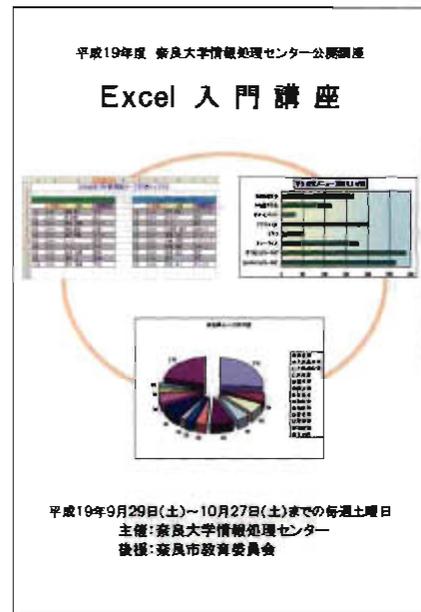
2008年度入学生版のスタートアップガイドを入学式までに作成しました。主な修正箇所は「情報処理センター内部の見取り図」です。

ユーザーズガイド&公開講座班が作成した「パソコン入門講座テキスト」「Excel入門講座テキスト」および「スタートアップガイド」の表紙と「Web版ユーザーズガイド」のトップページを参考に掲載します。

以上



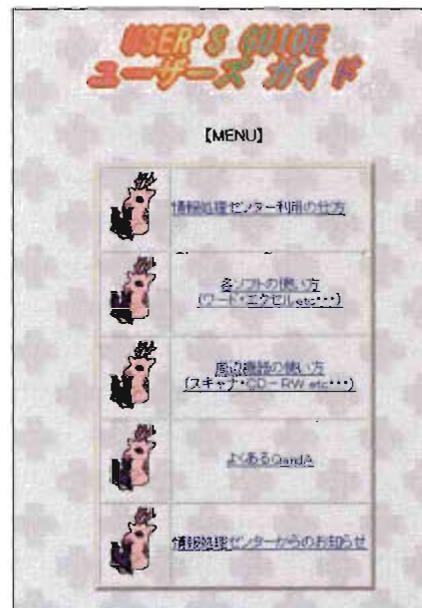
「パソコン入門講座テキスト」(表紙)



「Excel入門講座テキスト」(表紙)



「スタートアップガイド」(表紙)



「HTML版ユーザーズガイド」

## ○広報班

広報班の主な業務は、「センターニュースの原稿作成」「情報処理センターホームページの作成・更新」そして「各種掲示物の作成および掲示」です。

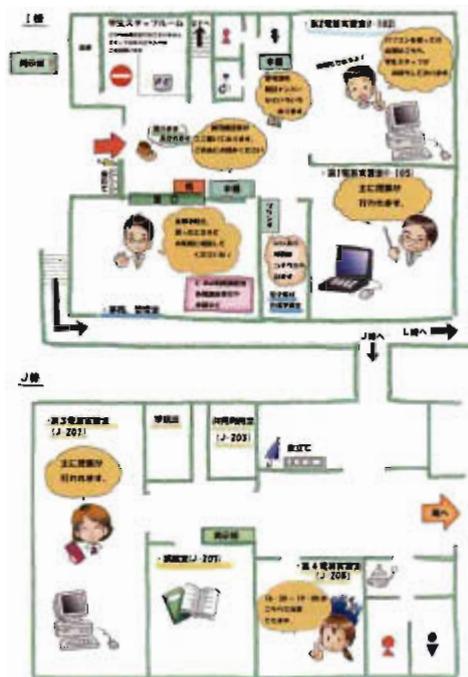
「センターニュースの原稿作成」では、No.58・59・60号の3部を作成しました。今年度最初のNo.58の作成に関しては、前号を作成した時と同じように、ミーティングで記事を決め、そこから全員で作成していきました。また、「自習室利用状況」は資料作成&教材作成支援班と連絡をとった上で掲載することが出来ました。No.59からは今年2作目ということで新規スタッフも作業がスムーズ行えるようになり、No.59とNo.60の両号とも前回と同じように、ミーティングで記事を決めて作成していき、両号とも締め切りまでに作成でき、特に問題は起きませんでした。

情報処理センターホームページの作成・更新では、新規スタッフが多く参入し、それに伴って、どの班もHTMLのスキルを必要とするので、前期はHTML講習会を実施しました。その上で当班に配属された新規スタッフに慣れさせるよう、「はやうちタイピングコンテストの結果」、「自習利用について」、「センターからのお知らせ」の3つの変更を頼んだところ、しっかりこなしてくれました。また、自主的にセンターホームページの修正すべき点（「学生スタッフの仕事紹介」の背景の変更）を挙げてくれた班員も居ました。後期は、変更すべき箇所を中心に加筆修正しました。特に「学生スタッフの紹介」、「自習利用について」、「はやうちタイピングコンテストの結果」、「公開講座」、「センターからのお知らせ」、「学生スタッフの仕事紹介」、「各班の仕事紹介」と班紹介のページ、「設備」、「研究業績一覧」を変更しました。

掲示物の作成では、受付の机に設置したお知らせは自主的に作成し、プリペイド式コピー機の案内のポスターの作成及び情報処理センター事務室カウンターに置いてある案内の作成は事務室の指示で作成しました。また、これらの作成には他班の班員が協力してくれました。印刷許可願の見本を作成しました。また、情報処理センター事務室カウンターに置いてある案内と、ポスターの作成も行いました。

今期もほぼ全班員が作業に当たってくれましたが、様々な支障があって仕方がない面もありますが、完璧とまではいきませんでした。また、これは広報班だけではなく全スタッフに言えることかもしれませんが、HTMLが基本的なものなら解かる、あるいはあまり解からないということが解かりました。そこで、来年度は新規スタッフも増えることだろうと思うので、平成20年度も一度HTML作成技術のいっそうの向上を目的とした講習会を開催し、どの班も円滑に業務を進められるようにし、それを下の世代へと繋げていかないといけないと感じました。

これからも円滑に作業を進められるようにし、かつ「見やすい・読みやすい・わかりやすい」も続けていきたいと思えます。



「センターマップ」

**センターニュース**  
**No.58**

2018年4月1日発行  
国立大学情報処理センター

今回のセンターニュースは、学生スタッフ広畑田が中心となり、すべて学生スタッフの手で作成、編集しました。ご賞覧ください。

目次	頁
1. パスワードの重要性について	1
2. 新着情報について	2
3. 教育情報に関するお知らせ	3
4. 卒業生卒業生大学情報処理センターの就職活動のお知らせ	4
5. 卒業生卒業生(旧)利用課室のお知らせ	5
6. 卒業生卒業生(旧)留学コンテストのお知らせ	5
7. 新着情報について	6
8. 卒業生卒業生卒業生情報について	6
9. 卒業生卒業生システム開発について	6
10. 情報処理センター学生スタッフの募集および活動について	6

**1. パスワードの重要性について**

情報処理センターでは授業を名のコンピュータ利用時はユーザーIDとパスワードが必要です。ユーザーIDは平成19年度入学生(通称有期生等を除く)からは学生証に記載されています。

また、初回ログインからパスワードを変更した時、そのパスワードを忘れた場合、再設定が必要となります。

**再設定には一週間の期間を設けています。**

再設定の際は必ずしも現機再設定はできません。

これは、現在の情報処理センターにおけるユーザーID、パスワードの重要性を認識してもらうためのものです。改定開始までにセンターを利用し、パソコンのログインができる確認及び再設定を完了してください。特に卒業生はこれから卒業論文作成で情報処理センターのコンピュータを頻りに使用すると思いますので、再設定を怠って困窮を来すようにしてはなりません。



「センターニュース No.58」(表紙)

## ○資料作成班

資料班の主な業務は、「自習室利用状況の統計資料作成」「センター年報のデータベース化」「システム図、ネットワーク図、教室配置図の作成」「情報処理センター案内パンフレットの作成」そして「eラーニングコンテンツの作成支援」です。

自習室利用状況の統計資料作成では、シフトに入った資料作成班のスタッフが、Accessへの利用者データ入力・自習利用簿のチェック・利用者数のチェック及び月初めの利用統計表作成をおこないました。

eラーニングコンテンツの作成支援では、教員から頂いた授業用教材のデータをPDFに変換し「学習支援システム」へのアップロードを行いました。今年は新規スタッフが多数のため、HTML作成方法やホームページへのアップロードする際に必要なFTPの操作講習会を開催して班業務の技術習得に熱心に取り組んでいきました。

「システム図、ネットワーク図、教室配置図の作成」「情報処理センター案内パンフレットの作成」では、情報処理センターの機器等の入替は行われなかったため、現システムと各図面の確認を行いました。

今年度は、ミーティングの参加については良好で、班業務の技術習得に熱心に取り組んでいた。さらにはミーティングでの技術を利用し、苦勞しながらも班業務に取り組むといった積極性が伺えた。この積極性が大きな収穫であり、来年以降の班業務に多いなる期待を寄せることが出来る。また、ミーティングでの技術習得が困難なスタッフもいたため、

マニュアルの改訂が必要である。今後は1人ひとりを指名して業務を行わせ、これら課題を解決していき技術者の育成に努めていきたい。

奈良大学  
学習支援システム

情報処理センターでは、授業のプリントや資料、講義の簡単なまとめの配布サービスを行います。協力していただける先生がおられましたら情報処理センターへご連絡ください。

現在、教材の提供されている科目は以下の通りです。  
氏名のアイウエオ順に掲載しています。

- 香木 秀夫
  - 空想小説の手法 - 西洋近代史- 西アフリカ史 -
  - 2007年度前期外国史 - 近代工業社会の発展編 - vol.1
  - 2007年度前期外国史 - 近代工業社会の発展編 - vol.2
  - 2007年度前期外国史 - 近代工業社会の発展編 - vol.3
  - 2007年度前期外国史 - 近代工業社会の発展編 - vol.4
  - 2007年度前期外国史 - 近代工業社会の発展編 - vol.5
  - 2007年度前期外国史 - 近代工業社会の発展編 - vol.6
- 大坪 康介
  - 心理療育実践
  - 社会心理学
  - 心理学応用実践(一)
  - 心理学応用実践(二)
- 大町 公
  - 人間学(一)
  - 人間学(二)
  - 人間学(三)
- 小松原 尚
  - 経済地理学

「奈良大学学習支援システム TOP ページ」

以 上